



データサイエンス教育 FD 研修会 「データ駆動型社会におけるデータサイエンス教育の重要性」を開催

【概要】

令和元年12月25日（水）に、理工学部6号館において、データサイエンス教育FD研修会「データ駆動型社会におけるデータサイエンス教育の重要性」（佐賀大学理工学部主催、全学教育機構共催）が開催されました。

【本文】

佐賀大学では、全学的にデータサイエンス基礎力を有する人材育成に取り組んでいます。この取り組みの一環として、佐賀大学理工学部は、全学教育機構と共催で、令和元年12月25日（水）に、データサイエンス教育FD研修会「データ駆動型社会におけるデータサイエンス教育の重要性」を理工学部6号館多目的セミナー室において開催しました。

FD研修会では、豊田理工学部長の挨拶に引き続き、慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授の渡辺美智子教授による「データ駆動型社会におけるデータサイエンス教育の重要性」と題した講演があり、我が国において数理・データサイエンス・AI教育の必修化が謳われるようになった背景や、今後のデータサイエンスの展開について説明がありました。通常、FD研修会は、本学教職員のみが対象ですが、今回は、日ごろ本学のデータサイエンス教育にご協力いただいている企業の方々にもご参加いただき、全体で約80名が参加されました。参加者は、熱心に聞き入り、講演後には数多くの質問が出された他、研修の終了後も講師に質問する方もおられるなど、関心の高さが窺えました。



FD研修会の様子

なお、理工学部のデータサイエンス教育に関する取り組みは、首相官邸Webページにある「国内大学等において実施されているAI等教育プログラムの主な事例（一覧）」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ai_senryaku/suuri_datascience_ai/dai1/sankou3.pdf

において公開されています。